

令和元年度第1回 舞鶴市入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	令和元年8月5日(月) 午後1時30分～3時45分 舞鶴市役所 本館4階 議員協議会室	
出席委員氏名	たか はし ゆき お 高橋 行 雄 (弁護士) 委員長 た ま だ か ず や 玉 田 和 也 (舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科教授) か み こ あ き お 上 子 秋 生 (学校法人立命館大学教授)	
議 事 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会あいさつ (平野総務部長) 2 委員長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 入札及び契約手続きの運用状況等の報告 入札状況等について事務局より報告 (2) 平成30年9月～平成31年3月までの建設工事(抽出工事)に係る落札者決定までの審議 抽出案件の工事概要と入札経過等について工事担当課及び事務局より説明 (3) 入札契約手続きの改善に関する審議 平成30年度の改正内容及び実施状況を説明 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負契約の解除について報告 ・次回の抽出委員に玉田委員を選出した。 ・次回の開催は令和2年1月又は2月を予定する。 	
審 議 対 象 期 間	平成30年9月1日～平成31年3月31日	
抽 出 案 件	総件数 6件	(備考) 入札対象件数 81件
一 般 競 争 入 札	6件	
指 名 競 争 入 札	0件	
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会意見の内容要旨	<p>議事(1)関係 特になし</p> <p>議事(2)関係 レアケースと言える入札結果もあるが、事前の対策としてどのような方策が考えられるか、是非検討いただきたい。</p> <p>議事(3)関係 今回の改善は評価できる。地元業者の事業の持続性にも目を向け、少しでも工夫しながら実態に合った業者選びができるように考えることが重要である。</p>	

「3 議事 (1) 入札及び契約手続きの運用状況の報告」関係

意見・質問	回答等
<p>建設工事の業種別契約金額の推移を見ると、業種によって随分変動があるが、複数の業種に対応できる業者は多いのか。</p> <p>応札状況のグラフからは、最低制限価格に影響を受けていることが分かる。設計額が高くなるほど最低制限価格の率も高くなっているがこれはどのような理由によるのか。</p>	<p>平成28年度以降、建設工事全体の契約金額は増加していますが、業種別には高額案件や災害復旧工事の有無によって大きく異なります。</p> <p>発注の際は、金額が高いほど上位等級を対象としており、複数の業種に対応している業者もいます。</p> <p>最低制限価格は国モデル式を基本に算定していますが、設計金額における経費割合の違いから、金額が大きいほど最低制限価格の予定価格に対する割合は若干高くなります。</p>
<p>応札率と最低制限価格の一致具合を見ると、平成30年度の土木一式は若干のずれが見られるが、これはどのように分析しているか。</p>	<p>積算基準の改定（平成30年度後半から本市適用）により、設計金額における経費の割合が変わりましたので、最低制限価格の予定価格に対する率が若干下がる結果となったものです。また、最低制限価格付近の入札傾向は同じですが、辞退が増えたことも影響しているところです。</p>
<p>発注金額が大きく変動している業種について、公共工事に依存する割合が高いほど、受注規模の変動は人員の確保など様々な課題が生じると思うが、業者にはどのような影響があるか。</p>	<p>建築、電気、管などは施設整備など高額案件の有無によって大きく変動します。</p> <p>土木工事も平成30年度は大幅に増加しましたが、高額案件を除くと、減少傾向に変わりなく、業者数の推移を見ても厳しい状況と思われます。</p>

「3 議事 (2) 抽出工事に関する工事の概要と入札の状況について」関係

① 次期最終処分場整備工事

意見・質問	回答等
<p>本件は、非常に高額であること及び総合評価方式で行ったもので、それがどのように機能したのかを検討したい考えで抽出した。</p>	
<p>この案件を総合評価方式で行った理由は何か。</p>	<p>一つは非常に高額な案件であったこと、そして工事の内容も施工計画の提案を求めて行うことに適した工事と考えられたためです。</p>
<p>技術評価の配点のウエイト等是一件ごと違うのか、それとも一定なのか。</p>	<p>本件は本市の総合評価方式において簡易型として分類しているもので、施工計画の評価と企業の評価を行うものです。</p> <p>毎年1件ほど、簡易型で行っているところですが、施工計画で求める項目及び内容は案件ごと異なり、工事の特徴を反映したものとしています。</p>

	<p>また、本件の企業評価については、地元業者の出資割合が高いほど評価点が高くなる工夫をしました。</p>
<p>工事の規模は大きいと思うが、施工業者によってどれほどの違いが生じるものなのか、技術的な困難さなどはどのようなものか。</p>	<p>まず、既設の処分場を供用したまま次の処分場を造ること、加えて水処理施設についても、供用したまま増強していく必要があることが困難な点です。</p>
<p>施工計画の評価については、市内部でどのような手続きで決めているのか。 また、評価項目の1つである工事成績についてはどれくらいの期間を対象としているのか。</p>	<p>市内部で担当部長及び技術系職員の計5名からなる技術評価部会を組織して評価を行っています。 また、工事成績の対象期間は3年間としています。</p>
<p>落札した共同企業体の出資比率はどのようなものか。</p>	<p>りんかい日産建設50%、アトラス30%、水嶋工業20%となっています。</p>
<p>市内業者だけでもできるような気もするが、JVにしたのはどのような考えか。 企業評価と出資割合の関係及びJV内での出資割合の制限について確認したい。</p>	<p>まず、市内業者における経営規模の違いもある中で、本件のように大規模工事の場合は従来から市外業者を加えたJVとしているところです。これは資金力も加味しているところです。 JVの企業評価については、評価項目ごとに各構成員の出資割合を当てはめて数値化します。 JV内での出資割合は自由に決められますが、3者のJVの場合は、最低でも20%の出資割合が必要となります。</p>
<p>入札価格はほぼ横並びである。 今回落札したJVが最も評価された部分はどうのようなどころか。 評価の違いが大きく影響しているが、具体的な評価内容はどのようなものであったか。 資料が用意してなくても、ある程度答えられないのか。</p>	<p>施工計画の全ての項目において、高い評価結果となりました。 この入札の条件として、各参加者の評価結果の内訳については、自社分以外については答えないこととしていますので、主にどのようなどころが評価されたかという回答になります。 (資料確認のため回答留保)</p>
	<p>(以下、抽出案件⑥の終了後報告)</p>
<p>詳細の説明を求めたいのではなく、特徴について説明されたい。</p>	<p>施工計画の提案として、現場管理、施工管理、安全管理、及び環境対策について技術提案を求めたものですが、落札者となった者は評価項目それぞれについて高い評価となりました。 中でも、約1年で7万㎡の土を現場外に搬出することから特に必要となる交通安全の対策や施工管理上重要な工程にある遮水シートの施工について、具体的で他社に無い優れた提案であったところが高く評価されたところです。</p>
<p>採点の中身の扱いについては透明性との兼ね合いが懸念されるが、情報公開請求があった場合の対応はどのようなになるのか。 参加者との取り決めだけでなく、客観的な理由が必要と思われる。</p>	<p>自社以外の評価内訳は答えないことを入札の条件としています。これは会社の利益等に影響する内容に該当する内容と考えています。</p>

<p>落札決定の鍵となった提案事項について、どのように実行性を確保するのか。</p>	<p>工期は3年ありますが、技術提案を受けた項目については、報告を受けその都度点検していきます。</p> <p>なお、現在のところ確認漏れはありません。</p>
<p>例えばNEXCOなどがこのような契約方法を多く行っているが、工事現場等で工夫点などをアピールしている。その辺りも考えていくことで、懸念事項の解消に繋がると思う。</p>	

② 大山地区災害に強い森づくり整備工事

意見・質問	回答等
<p>本件は、最低限価格の変動が適用された工事であったため抽出した。</p>	
<p>当初の最低制限価格が高過ぎたのではないのか。</p>	<p>この案件の最低制限価格が特に高かったとは思っていません。</p>
<p>変動の算定方法として平均が適当なのか疑問に思うところもあるが、新しい制度への取組みは一步前進と考えている。</p>	
<p>従来の方法に比べ、結果として全体のコストの削減にも繋がることになり、評価できると思う。</p> <p>また、全員が納得する方法は難しいと思うが、工夫されていて良い方法と思う。</p>	

③ 桂貯水池堆積土砂掘削工事

意見・質問	回答等
<p>本件は、最低限価格の変動が適用された工事であったため抽出した。</p>	
<p>変動制度の適用対象はどのように決めるのか。</p>	<p>平成30年7月以降、最低制限価格を設ける全ての建設工事の入札に適用しています。</p>
<p>新しい事への取組みであり評価できる。</p> <p>平均とすることの理屈なども整理しておくと思う。</p>	
<p>業者からの反発等はないか</p>	<p>全員が下回った場合の変動については、異論なく受け入れられているところです。</p>

<p>今回の工事で掘削した土砂はどこへ運ぶのか。 また、その場合の経費の負担はどうか。</p>	<p>現在仮置きしていますが、上福井浄水場の建物を除却した工事の埋め戻しに使用する予定です。掘削から仮置きまでの費用と埋め戻しの費用を分けることとなります。</p>
-----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

④ 歴史のみち整備（舗装）工事

意見・質問	回答等
<p>本件は1者を残して、他が失格している特異な入札結果として抽出した。 平成29年度以降の舗装工事の入札結果を見ると、今回の入札結果は傾向が変化しており、何らかの思惑が働いたと考えられないこともないが、このようなことを事後に言うだけでなく、事前に防止するにはどうするのがよいか考える必要がある。</p>	
<p>舞鶴市は最低制限価格を事後公表しているが、事前公表も可能なのか。 最低制限価格を事前に公表すると、今回のような極端な入札結果をなくすことはできると思うが、そのような入札をすることは是非が問われると思われる。</p>	<p>本市で最低制限価格を事前に公表すれば、くじ引きになると思われます。 全国的に見ると、最低制限価格を事前に公表しているところもありますが、恐らく、事前に公表しても入札結果への影響が少ない入札傾向にあるのではと推測しています。</p> <p>舗装工事の入札に関して、最低制限価格を基準に29・30年度の応札状況を比較すると、30年度はより集中の傾向を示しています。 本市の最低制限価格は、過去に起きた事件を踏まえて、漏洩の可能性のない方法としていますので、結果として若干変動しています。 グラフからは、入札者も、その辺りしっかり理解して応札されていることが読み取れるところで、今回、このような入札結果の改善策として、開札結果による対策とは別に、制度的な面で工夫することでの改善の可能性など、別の対策を考える良い機会をいただいたと考えています。</p>
<p>事後の対応だけでなく、そうならないための事前の対策としてどのような方策が考えられるか、是非検討いただきたい。</p>	
<p>年間の入札件数からすると、本件はレアケースではある。 だから構わないという訳ではないが、本委員会で抽出することで注目されるのだが、これを複雑にしすぎると、より混沌としてしまう。市は常に緊張感を持つよりないのかなと思う。</p>	

<p>年間百数十件行われる入札において、毎年このような結果が散見られる。</p> <p>これが偶発的事象であるにしろ、市民感覚からすると違和感を覚える結果であるので、具体的な対策を検討いただきたい。</p>	
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

⑤ 榎1系（夕潮橋）水管橋架設替工事

意見・質問	回答等
<p>本件は、この1件に限らず水道施設工事の入札において辞退が多いことから、発注時期や業者数などとのミスマッチなど構造的な問題がないかに着目したものである。</p> <p>辞退が多い背景についてどのように見ているか。</p>	<p>本件は条件付一般競争入札ですが、全体の結果を見ても水道施設工事の辞退者の割合は増えています。</p> <p>水道施設工事の業者の多くは土木工事の業者を兼ねています。</p> <p>水道施設工事では、従来から金額が低いほど辞退が多い傾向にあり、他の工事を優先していると考えられるところですが、土木工事の辞退者の割合も30年度は前年度よりも増えていますので、工事の内容の他、技術者数の減少など様々な要因があると考えられるところです。</p>
<p>工事の発注時期は市内の事業者の数等など考慮して発注しているのか。</p>	<p>水道事業については、年間を通して平準化を図るよう発注しているところです。</p> <p>土木と兼ねる業者が多い中、30年度は災害関係の工事が多かったことも影響しているものと思われます。</p>

⑥ 上福井浄水場旧管理棟除却工事

意見・質問	回答等
<p>本件は参加者が1社であったことに着目した抽出した。</p>	
<p>参加者が1JVしかなかった訳だが、舞鶴市内の業者で、今回の鉄道関係の要件を満たす業者はどれくらいいるのか。</p> <p>また、はじめから参加者が限られると見込まれる中で行うしかないのか。</p>	<p>市内業者で要件を満たすのは1社です。なお、京都丹後鉄道管内では2社あると認識しています。</p> <p>今回必要な資格が複数ある中でも、線路閉鎖責任者の資格を有する者は全国的に多くいるものではありません。当該鉄道事業者との協議において管内に2社いることを伺っていましたが、全国を対象に行ったものです。</p>
<p>間口を広げて、結果的に市外の業者が受注するよりも市内の業者が受注した方が良くも考えることもできるが、鉄道の町でもある福知山市の状況は把握しているか。</p> <p>資格は鉄道事業者ごとにあるものなのか。</p>	<p>JR管内になると思うが、1社いることを認識しています。</p> <p>資格は日本鉄道施設協会が認定したものです。</p>
<p>入札参加者を増やす手立てはないのか</p>	<p>鉄道事業者と協議を進める中でも、参加者が少ないことが懸念されましたので、全国を対象にした一般競争としたところです。</p>

<p>実質的に1社しかいないのであれば、鉄道関係部分だけの随意契約や下請などの対応はできないのか。</p>	<p>上福井浄水場関係の工事は7年くらい行っている訳ですが、お尋ねの対応の場合は鉄道事業者との協議が整わないこととなります。 本体工事の工程的な事と鉄道の管理、見張り、検測、これらを一体的に行う必要があることを求められています。</p>
<p>逆に舞鶴市内に1社いるので、今回の入札結果に収まっていると思う。 鉄道を跨ぐ工事は一挙にハードルが上がる。橋梁点検業務の場合、鉄道は道路に比べ5倍かかると言われている。 大手私鉄以外はJRの資格で行っている。 現在鉄道の資格を持つ市内業者が今後も資格を保持することが大切である。</p>	

○ 「3 議事 (3) 入札契約手続きの改善について」関係 及び全体を通して

意見・質問	回答等
<p>入札しておけば市民の利益を担保できるという考えは、公共工事以外の民間工事もあって、事業者も多い理想的な環境が前提であろう。 発注先の殆どが市内業者であったり、できる者が限られるような状況下にあっては、入札によって不確定な中で競争させるよりも、むしろ交渉で決める方が全体的に安くできると思うが、現在の法律上それはできない。 また、災害対応のため業者の確保も必須である。 契約相手の探し方を抜本的に変える必要があると思う一方、法律の制限もある中で、今回の改善は高く評価できる。 少しでも工夫しながら実態に合った業者選びができるように考えることが重要である。</p>	
<p>本委員会の事務に制度の改善に関することが加わり、それが実施されたことは良かったと思う。 制度については、不正なことをする者が跋扈しないように制度のバランスを保つ必要がある。 災害対応、除雪など建設業に携わる者の年齢が確実に上昇している中で、発注しておけば何とかなると考えるのではなく、建設業者の振興策も必要で、例えば事業の永続性担保のための勉強会などやっていないと、適正な入札ができなくなってしまう。 地元でなんとか回るよう続けていくことが大切である。</p>	
<p>本委員会は入札のあり様を審議する場ではあるが、全体として 業者数や技術者数の減少など 全体として市の事業等がスムーズにいくためには、これまでの視野では十分でなくなっていると思う。</p>	<p>指摘いただいた事はいずれも、本市の将来を考える上で重要なファクターであると認識しています。具体策については今後、知恵を出して検討していきたい。</p>